

グランディア芳泉
山口 由紀さん



おかみ 女将さ〜ん 出番ですよ〜!

地域連携 共に祭り盛り上げ



今年の「三國湊帯のまち流し」は10月4日です



今月オープンした2号店、にぎわってます!

あわら温泉女将の会は、地域とともに歩みを重ねる存在でありたいと願い、さまざまな活動を続けてきました。その一つが、初秋に隣町の坂井市三國町で開かれる「三國湊帯のまち流し」への参加です。風情ある三國節に合わせ、港町の細く長い道を浴衣姿で踊り流すこの行事は、地域を彩る大切な伝統です。女将の会も十数年前から列に加わり、三國の方々と一緒に盛り上げてまいりました。私自身も2度目の参加の時に「真情賞」をいただき、心を込めて踊った姿を認めてもらえたことに大きな励ましをいただきました。さらに、この帯のまち流しは私たち家族に忘れられない思い出を残してくれました。一緒に参加した次女が最後の輪踊りで、生涯の伴侶と出会ったのです。地域の祭りが人を結び、新たなご縁

を生み出す場となる。これが地域連携の力だ、と実感しました。今年は10月4日の土曜日に開催が予定されており、多くの方々と再び参加できることを楽しみにしております。

昨年からは、私が女将を務めるグランディア芳泉としても、三國のまちづくりに深く関わっております。築100年の古民家を改装し、宿泊施設「恐竜古民家ホテルだいな荘」と「Cafeだいな荘」を開業。ホテルは2部屋のみですが、旅館で培ったおもてなしを注ぎ込み、古民家ならではのぬくもりを大切にしています。全国からお客さまが訪れ、古い梁や障子の空間に「祖父母の家に帰ったよう」と言われる方も。地元食材を使った朝食は「旅館とはまた違う家庭的な温かさ」と好評で、こちらも温かな気持ちになります。

カフェには、地元の方々が「ちょっと寄ってみようか」と足を運んでくださるようになり、朝は散歩の途中に立ち寄ってコーヒーを楽しむ常連さま、午後には小さなお子さまを連れのお母さん方が笑顔で集まります。週末になると、観光客の方

々が「地元の人と同じ空間にいるのが楽しい」と話し、手作りのケーキや米粉クッキーに舌鼓。若旦那の自家焙煎コーヒーも人気です。観光と暮らしが自然に交わる場所として、地域の一部になりつつあります。

今月は「Cafeだいな荘」の2号店を、あわら市のあわら湯のまち広場にコンテナ形式でオープンしました。あわら温泉の魅力向上に向けた社会実験も始まりました。観光客だけでなく地元の方の日常に溶け込み、温泉街がにぎわえたと願っています。

地域連携と聞くと大きな事業のように思えますが、実際はこうした日常の「コマ」にこそ力があるのだと思います。お祭りで町の人々と踊ること、カフェで笑顔を交わすこと、古民家の宿で遠方のお客さまに地域の良さを伝えること。その積み重ねが地域を豊かにし、活気を生むのだと感じています。

これから女将の会として、地域の人々と観光客、さらに地域と地域をつなぐ橋渡し役になりたいと願っています。帯のまち流しの輪踊りのように、人と人、町と町を結ぶ「輪」を広げ、未来へと続く元気な地域を築くために歩み続けたいと思います。

ふくい暮らし

人や町結ぶ「輪」広げる